

和歌山大学教育学部附属特別支援学校
令和3年度研究発表会（ご案内）

オンライン開催
YouTube ライブ限定配信
& Zoom ミーティング

考える子を育てる

～知的障害特別支援学校における小・中・高一貫した生徒指導とは？～

期日

1/22(土)

時間

11:00～
15:50

参加費
無料

日程

11:00	12:30	13:30	14:10	15:40 15:50
講演（新井 肇 先生） YouTube ライブ限定配信	昼食休憩	開会のご挨拶 全体会	分科会 （4つのテーマグループに 分かれて協議します） Zoom ミーティング	閉会 （15:40～15:50）

ごあいさつ

本校では開校当初より、子どもたちの積極的な社会生活への参加を教育目標に掲げ教育実践に取り組んでいます。研究活動においては、「生活力」「地域・社会で生きる」「生涯につながる支援」「内面の育ち」「学び続ける力」と順次テーマを設定し、授業改善に取り組み、実践研究を積み上げてきました。

そして、令和元年度からの3年間は、「考える子を育てる」を研究主題に据え、子どもたちの考えようとする力を高めることを目的に、4つのグループに分かれて研究を進めてきました。

研究発表会はオンライン開催となりますが、多くの皆様にご視聴いただき、忌憚のないご意見を賜り、本校の教育実践に還元していきたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

和歌山大学教育学部附属特別支援学校長

武内 正晴

講演

配信時間 11:00～12:30（予定） YouTube ライブ限定配信

講演テーマ：特別支援学校における組織的生徒指導力を高めるために

－考え、協働する子どもと先生による学校づくりをめざして－

概要

児童生徒が抱える問題や陥る危機の原因や背景の多様化・深刻化に伴い、教職員一人ひとりの頑張りだけでは解決が難しい課題が増加している。特別支援学校の生徒指導において、日々の実践を振り返り、理論に基づいて課題解決を追求していく姿勢を、個々の教職員に留まらず学校組織として保持することが求められるであろう。考え、協働する教職員と児童生徒が主体的に取り組む学校づくりの方向性と課題について、成長を促す生徒指導の組織的展開という視点から考えてみたい。



講師 新井 肇 先生
（関西外国語大学教授）

①「わかる授業」づくり —収奪する姿をめざして—

概要

子どもたちが見通しをもち、課題に対して自分なりの解決方法を編み出していこうとする姿が見られるような授業づくりについて、研究の成果と実践の過程を紹介します。

分科会テーマは「子どもの『わかる』を促進させるには」「自己評価の意義とは。正しく自己評価できるようにするには」で、意見交流の時間を予定しています。

授業紹介

小学部 ことば・かず 三角形と四角形
中学部 基礎学習（理） 電気が通るもの、通らないもの
高等部 スタディ（国） 注文の多い料理店

提案者 谷口 紗由美
司会者 三木 理恵子
研究協力者 武田 鉄郎（和歌山大学教授）
助言者 和田 伸敏（県立学校教育課特別支援班指導主事）

②自分づくりを支えるカリキュラム —キャリア発達の視点から—

概要

キャリア発達の視点を軸に、自分づくりに大切な7つのはぐくみたい態度を検討、整理しました。さらに12年間で4年毎の3ステップに分け、系統的に学ぶことができるカリキュラムの開発に取り組み、実践を重ねています。

分科会テーマは「卒業後も夢をもって自分づくりをし続ける人に…～12年間でできる支援や取り組みについて～」です。

授業紹介

小学部 「生活」 力を合わせて！
小・中合同 特別活動 一緒にチャレンジ！
中・高合同 特別活動 和附特オリンピックを開こう！

提案者 井上 泰馬
司会者 久保田 真由子
研究協力者 山崎 由可里（和歌山大学教授）
助言者 宮本 真吾（県立学校教育課特別支援班指導主事）

③セクシュアリティ教育 —人権としての性—

概要

性は人間らしく、自分らしく生きるための人権の一つと考え、特別支援学校における包括的に性を捉えたセクシュアリティ教育の在り方について研究を進めてきました。これまで、セクシュアリティ教育の和附特モデルの作成、授業実践、卒業生のインタビュー調査、教員研修などに取り組んできました。

知的障害のある児童生徒にとってセクシュアリティ教育を進める上で、大切なことは何か、参加者の皆様とご一緒に考えていきます。

授業紹介

小学部 「生活」 赤ちゃんができるまで
中学部 保健体育 ちがうって、へん？
～いろいろな心と体を知ろう、考えよう～

提案者 鶴岡 尚子
司会者 辻本 佐和美
研究協力者 江田 裕介（和歌山大学教授）
助言者 恋田 剛彰（県立学校教育課特別支援班指導主事）

④社会とつながる —ソーシャルワークの視点を取り入れて—

概要

教師が子どもたちを取り巻く環境に目を向けながら実態把握を行うこと、多様な社会とつながることができるような道筋をつくることの2点を目的に研究を進めてきました。

分科会テーマは「本校で研究を進めてきた『インシデント・プロセス法を用いたケース会議』のやり方を周知し、活用につなげよう」とし、これまでの実践の報告や、模擬ケース会議を行います。

授業紹介

中学部 キャリア 今の自分と周りの人々との
つながりを考えよう
高等部 セルフデザイン 未来の自分の
エコ・マップを描こう

提案者 中筋 千晶
司会者 猿棒 亜矢
研究協力者 古井 克憲（和歌山大学准教授）
竹澤 大史（和歌山大学講師）
助言者 道上 里砂（県立学校教育課特別支援班班長）

お申込みはこちら 

または



和歌山大学 支援学校

検索 

締切 令和4年1月19日（水）

お問い合わせ

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

〒641-0031

和歌山市西小二里2丁目5-18

T E L : 073-444-1080 F A X : 073-447-2597

✉ wft-kenkyu@ml.wakayama-u.ac.jp